

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第100号 令和6(2024)年6月17日発行



教育相談特別講座のお知らせ

<テーマ> 「不登校について考える」

講座やパネルディスカッション等を通してさまざまな視点から不登校について認識を深め、教職員や学校としてできることをともに考えましょう！

▶期 日 令和6(2024)年7月25日(木) ▶会 場 栃木県総合教育センター

▶参加対象 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員及び教育関係者

▶日 程

9:30	9:50	12:00	13:00	14:50	15:55	16:00
開会 行事	講 座 ※A・B・C から1つ選択	昼食 休憩	パネルディスカッション	意見交換等	開会 行事	

午前受付 9:00~

午後受付 12:45~

▶講 座

- A 「不登校の子どもの心とつながる」 講師 鳴門教育大学 教授 吉井 健治
B 「不登校児童生徒の保護者への支援」 講師 開善塾教育相談研究所 所長 藤崎 育子
C 「組織を生かした不登校への対応」 講師 日本大学 教授 藤平 敦

▶パネルディスカッション 「不登校児童生徒への支援について考える」

パネリスト

- 鳴門教育大学 教授 吉井 健治 開善塾教育相談研究所 所長 藤崎 育子
日本大学 教授 藤平 敦 栃木県連合教育会 常任理事 築瀬のり子
壬生町立壬生中学校 校長 増淵 直樹

司会 栃木県教育委員会事務局学校安全課 課長補佐 佐藤 俊宏

▶実施方法 会場参加(定員240名・先着順)及びオンデマンド

(A・B・Cの講座のみ後日動画配信 ※動画配信期間(予定)8月9日(金)~9月30日(月))

▶参加費 無料

▶申込み 以下の方法によりお申込みください。なお、お申込みの際に、終日・午前・午後・オンデマンドのみの4つの参加形態からお選びください。

- ・パソコンから…下記の申込みフォームURLから必要事項を入力
https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2024/tokubetsu_koza.htm
- ・スマートフォンから…右のQRコードをカメラで読み込み必要事項を入力
(入力にかかる通信料は個人の負担となります。)



▶締 切 り 令和6(2024)年7月16日(火)

▶そ の 他 会場で参加された方もオンデマンド配信の視聴は可能です。視聴方法については、後日連絡いたします。
参加希望者が定員を超えた場合には先着順で受講者を決定いたします。
各講座については、第一希望とならない場合があります。

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7211)

先生方の授業づくりをサポートします！

総合教育センターでは、各学校等が実施する教職員の研修会や授業研究会などに講師を派遣し、授業づくりや授業改善の取組をサポートしております。お気軽に御相談下さい。

【校内研修テーマの例】

○各教科等の授業研究会

学校課題の解決に向けた各教科等の授業研究会の取組をサポートしています。授業参観や授業研究会を通して、授業づくりや授業改善について先生方と一緒に検討します。授業の事前段階からの支援など、学校等の御希望等に応じて、出来る限り柔軟に対応して実施しております。

○情報モラル教育

児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応などについて学びます。ワークショップ等を通して、指導力の向上を目指します。

校内研修メニューはこちら →



【授業づくりに関する資料】



↑
調査研究のページはこちら

小・中学校段階向け資料「単元の見通しとICT活用」、高等学校向け資料「教科における探究的な学習の充実」を Web サイトに掲載しています。ぜひ御活用ください。

なお、「調査研究」Web サイトでは、本年度の調査研究の実践についても、「調査研究通信」として、随時、配信しています。ぜひ御覧ください。

【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

先生方のICT活用をサポートします！

当センターWeb サイト内の「とちぎ教育ICTポータルサイト」では、先生方のICT活用に関する困りごとを解決する方法や新しい情報などを随時配信中です。先生方からの実践事例も引き続き募集・掲載いたします。御覧いただき、授業・校務等にお役立てください。



とちぎ教育ICTポータルサイトはこちら →



【実践事例】32点

- ・随時コンテンツを追加。
- ・先生方からのご応募をお待ちしております。



【情報モラル教育】

「GIGAワークブックとちぎ2024」

- ・探究的な学びのためのコンテンツ
- ・「生成AI」などの新しい情報技術と上手に付き合う力を育てるコンテンツ
- ・「金融教育」などを統合した情報モラルに関するコンテンツ等

【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

教職員サマーセミナーに参加しませんか

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深めるとともに、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

1 講座案内

宇都宮大学教職センターWebサイト <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte3.php>
 栃木県総合教育センターWebサイト <https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

2 申込み方法

宇都宮大学教職センターWebサイトからお申し込みください。



締切り 令和6(2024)年7月16日(火)

3 その他

- ◆ 宇都宮大学及び栃木県総合教育センターから旅費の支給はありません。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もあります。
- ◆ このセミナーは、**教職5年目研修・中堅教諭等資質向上研修・中堅養護教諭資質向上研修・教職20年目研修・栄養教職員20年目研修**における選択研修の対象になっています。
- ◆ 定員を超えた場合は、先着順とします。
- ◆ 会場となる宇都宮大学峰キャンパス・共同教育学部附属幼稚園・特別支援学校には、自家用車で入構できます。アクセス及び構内案内については、宇都宮大学教職センターWebサイトで確認してください。

4 問合せ 宇都宮大学教職センター 地域連携部門 TEL 028-649-5272

5 講座一覧

※ 受講要件がありますので必ず講座案内をご確認ください。

番号	実施日	講座名	講師	対象教員
1	7/30(火)	英語の教科書を効果的に活用する指導の工夫 ～児童生徒の「なぜこの題材を学ぶの？」に答える～	田村 岳充	小・中・高・特
2	7/31(水)	教職についての理解を深めよう	大島 政春 尾崎 承子 関口 健一 井口 桂一	小・中 (臨時任用職員)
3	7/31(水)	アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan 漆・漆ワークショップ ※	松島さくら子	小・中・高・特
4	8/1(木)	「特別の教科 道徳」の授業デザイン	和井内良樹 上原 秀一	小・中・高・特
5	8/1(木)	I C Tを活用したものづくりについて考える	石島 隆志	小・中・高・特
6	8/2(金)	楽しく調理しながら家庭科食領域のSDGsを考える	カバリエロ優子	小・中・高・特
7	8/5(月)	幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう	石川由美子 齋藤 大地 福田 奏子	小・中・高・特
8	8/5(月)	若手教員が保護者と関係づくりをするためのヒント	川原 誠司	小・中
9	8/6(火)	子どもの遊び・生活と学習－調査からみえてくること	丸山 剛史	小・中・高
10	8/7(水)	異界と転生の世界史	下田 淳	小・中・高・特
11	8/7(水)	「書くこと」「聞くこと」を中心とした言語活動の学習指導	高井 太郎 神田恵美子	小・中・高
12	8/8(木)	失敗しない生物実験	井口 智文	小・中・高・特
13	8/8(木)	著作権について学ぶ	新井 恵美	小・中・高・特
14	8/9(金)	I C Tを活用して地球を探究する ※	瀧本 家康	中(理科・社会科)
15	8/9(金)	子どもの運動能力・体力向上を目指した運動学習の理論と実践	加藤 謙一 松浦 佑希	小・中・高・特
16	8/20(火)	鍵盤ハーモニカの両手演奏にチャレンジしよう	新井 恵美	小・中・高・特
17	8/20(火)	数学的に考える力を育てる授業づくり ：数量の乗法的な関係に着目する力に焦点を当てて	日野 圭子	小・中(数学)
18	8/22(木)	子どもの自己肯定感を育むリズム遊びの理論と実践	長谷川万由美 石川 隆行 宮代こずゑ 高根沢伸友	幼・小・特
19	8/23(金)	演奏における指揮をよりわかりやすく	高島 章悟	小・中・高・特
20	8/23(金)	I C Tを活用した物理実験を体験しよう	瀧本 家康 夏目ゆうの	中・高(理科)

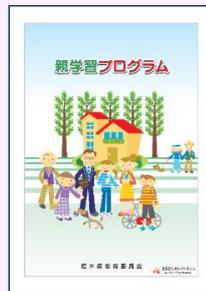
【問合せ先】 研修部 (TEL 028-665-7202)

子どもを育む環境づくりの促進に向けて…

県教育委員会では、家庭の教育力の向上を図るとともに、保護者同士がつながり、社会全体で子どもを育む環境づくりが進むことを目指し、「親学習プログラム」を活用した学習機会の充実に取り組んでいます。このプログラムは、学校での保護者懇談会をはじめ、家庭教育学級、PTA研修会、就学時健康診断時等、様々な機会に活用できます。

「親学習プログラム」とは…

- 話を聞くだけでなく、保護者同士が身近なエピソードやワークを通して話し合い交流しながら、子育てに必要な知識やスキルを主体的に学ぶ、参加型の学習プログラムです。
- 主なねらいは、参加者同士が話し合いを進める中で、『自分自身の問題に気づく』『親としてのあり方や役割について考えたり、整理したりするきっかけとする』ことです。
- 参加者の状況や、使用する場面、時間、場所などに応じ展開の仕方を自由に工夫できます。
- 子育てが終わった人や、将来、親となる中高生や大学生、社会人も学習できる内容となっています。



※インターネットで「とちぎ 親プロ」と検索していただくと、プログラムのテキスト等を見ることができます。

<標準的なプログラムの流れ>

時間	アクティビティの展開	展開のポイント・留意点
10～25分	○アイスブレイク ○グループ分け	○ワークや様々な手法で参加者の緊張や場の雰囲気 を和やかにします。 ○メインの活動の導入として行うこともあります。 ○話し合い等の活動が行いやすい人数（4～6人） でグループを作ります。
30～70分	○ワーク グループでの話し合いなど	○エピソードやデータ、写真などをもとに、個人や グループでワークを行います。 ○話し合いやシミュレーションなど内容は様々です。
10～25分	○ふりかえり	○参加者自身の気づきや、他の参加者の意見を聞き、 学習の整理、共有の場とします。

プログラムの実施に当たっては、ねらい・内容の確認やファシリテーターの派遣に至る手続きに時間を要するため、1か月前までに御相談いただきますようお願いいたします。配布資料準備や当日の進行は、こちらで行います。また、費用は一切かかりません。右記の二次元コードからリーフレット「学校で保護者対象の学びを企画する方へ！～『親学習プログラム』をやってみませんか？～」をダウンロードすることができますので、ぜひ御覧になってください。



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）